

## ジンコソーラー、米国の sPower と 1.43GW のモジュール供給契約を締結

2018年6月6日、世界をリードする太陽光発電会社ジンコソーラー（NYSE：JKS）は、傘下の全資支社ジンコソーラーアメリカとアメリカの独立電力メーカー sPower とモジュール供給契約を締結したと公表した。契約によると、ジンコソーラーは未来の3年間で、sPower に 1.43GW の高効率モジュールを供給する。

両社は、強い戦略的関係を維持しており、これまでジンコソーラーは sPower の太陽光発電プロジェクト向けに 800MW 以上の太陽電池パネルを約 250 万枚提供してきた。今回の合意には、ジンコソーラーが米国とアジアで製造能力を拡大するのに役立つ大幅な前払いが含まれている。

「我々は、ジンコソーラーが高品質と信頼性の高いモジュールの製造においての優れた成績を取得したことを見得しました。ですから、再び新たな契約を締結しました。ジンコソーラーは技術のルートとコスト面での優位性を利用して、これからのプロジェクトを強力に推進しています。私たちは双方の強力な協力関係を維持し続けることを期待しています。」と sPower の CEO Ryan Creamer がコメントした。

「sPower と再び協力できるのは大変嬉しかったです、この度のチャンスを非常に重視し、sPower のような遠見のある企業と協力し、会社の業務を開拓します。ジンコソーラーはずっと先進的な太陽光発電技術に取り組んで、そして、多くの成果を上げました。」とジンコソーラーのグローバルマーケティング副総裁の苗根さんがコメントした。

## ジンコソーラー（JinkoSolar Holding Co., Ltd.）について

ジンコソーラー（NYSE: JKS）は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦（UAE）、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービス

を提供、販売。ジンコソーラーは2017年12月31日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで8.0GW、太陽電池で5.0GW、太陽光発電モジュールで8.0GWの年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは世界で8ヶの生産拠点があり、日本（2）シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリア、南アフリカ、アラブ首長国連邦、16の海外子会社を持ち、販売チームはイギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、ヨルダン、サウジアラビア、南アフリカ、エジプト、モロッコ、加納、ケニア、コスタリカ、コロンビア、パナマとアルゼンチンに広がって、従業員が1万2000人以上を雇用しております。